

各位

全3ページ
登録速報(2020-091)
2020年 2月12日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。

適用拡大登録年月日：2020年 2月12日

記

1 農薬の登録番号及び名称

登録番号 第22176号
名称 ゴーゴーサン乳剤 (BASFジャパン (株) 登録)

2 変更の内容

農薬登録申請書 第7項「適用病害虫の範囲及び使用方法」を以下のとおり変更する。

- ・ 作物名「ヤングコーン」を追加する。
- ・ 作物名「さといも」の使用時期、希釈水量、及びペンディメタリンを含む農薬の総使用回数を以下のとおり変更する。

(追加事項)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
ヤングコーン	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	全土壌	200~400 ml /10a	70~150 ℓ /10a	1回	全面土壌散布	全域	1回

(変更事項：変更前)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
さといも	一年生雑草	植付後萌芽前 (雑草発生前)	全土壌	200~400 ml /10a	70~100 ℓ /10a	1回	全面土壌散布	全域	1回

(変更事項：変更後)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
<u>さといも</u>	一年生雑草	植付後萌芽前 (雑草発生前)	全土壌	200~400 ml /10a	70~100 ℓ /10a	1回	全面土壌 散布	全域	<u>2回以内</u> <u>(土寄せ後の</u> <u>処理は</u> <u>1回以内)</u>
		<u>土寄せ後</u> <u>(雑草発生前)</u> <u>但し 収穫60日前</u> <u>まで</u>			<u>100ℓ</u> <u>/10a</u>				

3 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容

農薬登録申請書 第8項「使用上の注意事項」を以下のとおり変更し、別紙(変更後)のとおりにする。

(変更前)

(11) キャベツ、はくさい及びレタスのセル成型苗には薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけること。

(変更後)

(11) キャベツ、はくさい、レタス及び非結球レタスのセル成型苗には薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけること。

別紙（変更後）

8. 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 本剤は雑草の発生前～発芽時に有効であるが、雑草の生育が進むと急激に効果が低下するので、使用時期を失しないように散布すること。
- (3) 本剤はイネ科及び広葉の一年生雑草に効果があるが、キク科雑草とツユクサには効果が劣るので、これらの雑草の優占圃場では使用しないこと。
- (4) 土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣るので、希釈水量を多めにするかまたは降雨後に散布すること。
- (5) 砕土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行うこと。
- (6) はげしい降雨が予想される時には使用をさけること。
- (7) 散布にあたっては、他作物に飛散しないよう十分注意して使用すること。
- (8) 水田裏作の麦に使用する場合、排水不良の畑では使用をさけること。
- (9) ソルガムに使用する場合、覆土深は3 cm以上とすること。また散播では使用しないこと。
- (10) 桑にはかからないように注意すること。
- (11) キャベツ、はくさい、レタス及び非結球レタスのセル成型苗には薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけること。
- (12) 本剤はマルチ栽培のとうもろこしに薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。
- (13) うど及びにらで畦間土壌散布を行う場合、飛散防止カバーを使用して作物にかからないように散布すること。
- (14) かんしょで畦間土壌散布を行う場合、薬液が作物に飛散すると葉の奇形症状の薬害を生じるおそれがあるので、作物に飛散しないように注意すること。
- (15) きくの品種、栽培条件などによっては黄化、抑制等の薬害を生じるおそれがあるので、本剤を初めて使用する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
- (16) 本剤は自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意すること。
- (17) 本剤は衣服（白衣）などに散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意すること。
- (18) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (19) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上